

研修大会・県大会

研修大会および県大会については、例年横浜で開催していましたが、今年度は研修大会を平塚で、県大会を寒川で開催しました。また、オンラインによる同時配信やアーカイブ配信も組み合わせて実施することで、多くの方にご参加いただきました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

令和6年度研修大会 講演

「弁護士も失敗する
法律よりむしろ楽しい子育て」

弁護士 菊地 幸夫 氏

令和6年7月28日(日) ひらしん平塚文化芸術ホール

国選弁護を担当した少年のことやご自身の子育てについてお話しいただきました。反抗的な態度をとっていた少年が徐々に変化し、社会復帰後には大学に合格するまで成長した姿には、大人が子どもを信用して見守る姿勢が子どもにどれほどの影響を与えるのかを考えさせられました。

ご自身の子育てのお話しでは、それまでのガミガミ親父をやめて家族への姿勢を変えることで家の中の雰囲気はよくなり、ご本人も「ちゃんとした子に育てなければ！」と気負いすぎている気持ちが楽になったそうです。

講演を通して、子どもに対してパワー（圧力や恐怖心）でコントロールしようとしても上手くいかない、褒めていいところを見つけて伸ばしていく方が子どもにいい影響を与えられる、「ありのままを愛し」「まかせる」ことを大切にしていけることを学びました。



第62回神奈川県立高等学校 PTA連合会大会 講演

「家族で楽しむ食育」
～世界30カ国のキッチンで学んだ大切なこと～

料理研究家 コウケンテツ 氏

令和6年12月21日(土) 寒川町民センター

スクリーンに映る香辛料の色鮮やかな写真に魅せられながら、世界各国の食文化や食を通じた家族の絆のお話しをお聞きしました。また、10代の頃に挫折を味わったご自身の半生を交えたお話しいでは、今後の社会に必要なことや多様な働き方について学び、進路に悩む高校生を持つ保護者には生き方や考え方を広げることができる内容でした。

子どもとケンカした、進路のことで悩んだ、そんなときはスリランカ方式で思いっきり笑おう、そしてポルトガル方式に倣い、家族で分担して食事を作り、家族で食卓を囲んで会話することでストレスを解消しようと前向きな気持ちになることができました。

「自分の子どもを主観で見るのではなく客観視や俯瞰する視点を持つ」という言葉に今の社会や時代に合わせた柔軟な考え方を持とうと学びました。子どもたちには「コスパ・タイプ重視でリアリティを追求するのではなく、漠然とした夢を大切にしながら今後どうありたいか明確にイメージを持ち続けてほしい」という未来への素敵なメッセージをいただきました。



第48回広報紙コンクール (応募数58校)

第48回広報紙コンクールでは、厳正な審査の結果、最優秀賞に市ケ尾高校の「市ケ尾」が選出されました。審査委員長の神奈川新聞社の小野たまみ氏の講評を紹介します。



最優秀賞
市ケ尾高校



優秀賞
神奈川新聞社賞
神奈川総合高校



教育委員会教育長賞
海洋科学高校



高P連会長賞
生田東高校



安全振興会賞
大磯高校



安全振興会写真賞
横須賀高校



企画賞
西湘高校



奨励賞

座間高校



湘南高校



川崎高校



多摩高校



平塚中等教育学校



写真賞
海老名高校



編集賞
相模原弥栄高校

最優秀賞◆市ケ尾高校

写真の緩急のつけ方が上手でした。さらにはリード文を添えたり、5W1Hについても過不足なく入れることで、単なる写真集にとどまらない構成になり高評価につながりました。実態調査では読者の参加型アンケートを行うなど、最後のページまで息切れすることなく企画も編集も丁寧でした。

優秀賞◆神奈川総合高校

体育祭の特集では団の色を上手く使ってゾーニングすることで華やかで見やすい編集になっていました。部活動のタイプをマトリックスにして特長を分かりやすく伝える工夫もよかったです。PTA活動の楽しさも紙面から伝わってきました。

優秀賞◆海洋科学高校

学校の特色をうまく活かした内容で、生徒がどんな学校生活を送っているか一目でわかり、細かいところまで気配りされた編集でした。先生紹介では、前職についても触れており、人となりがわかる切り口がユニークでとても良かったです。

優秀賞◆生田東高校

しっかりとした取材が光る作品でした。注目のAIを取り入れた授業について特集を組むなど、時事問題にも敏感で、挑戦的かつ意欲的な企画力は群を抜いていました。楽しさが伝わってくるPTA活動の記事も高評価でした。

優秀賞◆大磯高校

被災地復興のツアーに参加した生徒の体験談を通し、もしもの時に自分たちがどのような行動を取ればいいのかを考えさせる構成になっており、学校の防災に対する関心や意識を高める編集になっていました。

第8回広報紙「表紙」コンクール (応募数58校)

今回から「表紙」コンクールの審査方法をホームページ上での投票から、役員・理事による審査で選考する方法に変更しました。また、最優秀賞1校に加えて、優秀賞2校を新たに選出することで、受賞校を増やしています。



最優秀賞
七里ガ浜高校

学校の様子がわかる躍動感がある生徒が楽しそう



優秀賞
中央農業高校

学校の特色が出ていてわかりやすい



優秀賞
平塚農商高校

生徒が書いた人物の絵と保護者が撮った花火の写真のコラボが良い

令和6年度 第62回神奈川県立高等学校PTA連合会大会

PTA活動事例発表校を紹介！

発表した2校は、令和7年7月に埼玉県（大宮）で行われる第71回関東地区高等学校PTA連合会大会埼玉大会の分科会で神奈川県を代表して発表することが決定しています。

麻生高等学校PTA テーマ：立候補したくなるPTAにするために

立候補を促せるようなPTAについて私たち役員は話し合いを重ね、バイオリン授業体験、制服リサイクル、活動室と活動資料の整備、「PTAかわら版」の作成配付という4つの新しい取り組みを行いました。

PTAに親しみや必要性、活動のしやすさを感じてもらい、PTAは活動を通して想いを実現できる場だと知ってもらうため行動しています。さらに今後は、人数が減っても活動できる形に変えることを検討していきます。

●発表にあたって苦労したこと

伝わりやすく、興味をもってもらえる展開にすること・見やすくわかりやすい発表スライドの作成に力を注ぎました。

●発表した後の感想

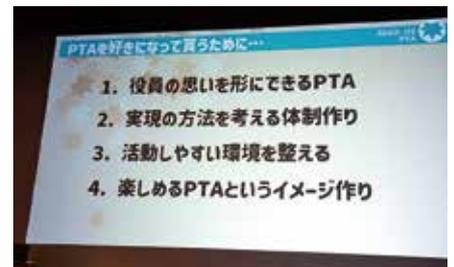
発表後に他校の方から、興味深い取り組みなので今後取り入れたいと感想や質問をいただいたことがとても嬉しく、活動の励みになりました。今後横のつながりをつくっていきたいと思いました。

●神奈川県代表校になった感想

分科会で他校の方と情報交換ができることを今から楽しみにしています。課題を共有し取り組みを聞き合うことで、それぞれのPTAでより活動しやすいものにしていく行動につながったら素敵だと思っています。

●貴校PTAはどんなPTAですか？

役員一人ひとりが才能を発揮し補い合える場であることを意識しています。そしてコミュニケーションを取り楽しく活動できるよう心がけています。



大磯高等学校PTA テーマ：HUB a Good Time～産官学民をつなぐ青春応援隊！～

公立高校は地域自治体や地域経済、行政とのつながりが希薄になりがちです。地域を知り地域とのつながりを創ることを大人の使命とし、子どもたちに未来での母校との関わり方を考えていただく種となる活動を目指しました。

●発表にあたって苦労したこと

発表のために3年前から方向性を考えてきました。コロナ禍明けのスタート、また多くの災害が起きた近年の中で、どのような取り組みを目指していくかを考え、何を対外に示せるかを選定することに苦労いたしました。

●発表した後の感想

自校PTA会員の中でも、どのような活動を行っているか知らない方が多かったのですが、発表を通して活動を知り、理解を深めていただけたことが大きな収穫でした。意欲的なメンバーが増えたと感じます。

●神奈川県代表校になった感想

身に余る光栄と存じております。楽しんで活動をしてきた延長にこの結果をいただきました。これからも求められる活動を目指し、やるからには神奈川県の高校PTAを代表する気概を持ち、しっかりと努めてまいります。

●貴校PTAはどんなPTAですか

校風をなぞるように保護者も自主自律の精神をもって活動をしています。新たな取り組みを発想いただいたり、決まった取り組みにはご理解をいただいたり、あたたかい雰囲気の中で活動をしています。



健全育成委員会

健全育成委員会 11月講演会

健全育成委員会の令和6年度講演会が11月24日（日）に行われました。

講師は元県立高校校長で現在は青少年と家族の未来研究所代表 増渕広美氏で、講演テーマは、「中高生の子どもの力を引き出す『言葉がけ』3つの秘訣」でした。

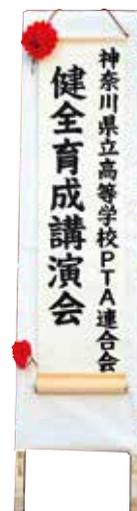
会場には約100名の参加者が集まり、親子のコミュニケーション手法への関心の高さをうかがわせました。

講演は、中高生世代の特徴や、親世代も身体・環境に変化が起こる時期であることについてのお話から始まり、より良いコミュニケーションのために大切にしたいこと、力を引き出す心がけ、子どもを叱るときのコツと続けました。そして「全ての子どもは力を持っていて、その凄さに気づいて社会につながるには、親からの信頼と応援が最高の勇気づけである。」とお話されました。

質疑は講演終了後も続き、このテーマによる講演会を開催してよかったと感じました。これからも会員の皆さまに寄り添った講演会を開催していきますのでよろしくお願いいたします。



▲熱心に講演される増渕氏



令和6年度 神奈川県教育委員会・神奈川県立高等学校PTA連合会 教育懇談会

令和7年1月17日（金）に波止場会館で、内田会長ほか役員9名と県教育委員会（学校支援課、高校教育課、保健体育課、教職員企画課、生涯学習課）が一堂に会し、教育懇談会が開催され、下記について意見交換をしました。

- (1) 闇バイトについて
- (2) かながわ子どもサポートドックについて
- (3) 献血について
- (4) 「多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学びの実現について」について
- (5) 教員の働き方改革について
- (6) その他

今後も高校教育等に係る最新の情報や取組を共有し、県高P連としての意見も伝えながら、教育委員会との連携を深めてまいります。

令和5・6年に統合した新しい学校

瀬谷高校+瀬谷西高校
横浜瀬谷高校



横 浜瀬谷高校では、授業の学びを充実させるために、「ロイロノート」を生徒一人ひとりの個性や学習進度などに合わせて学びを深めることができるように「Classi」という教育サービスを活用し、生徒の学習を支援する体制を整えています。

また、総合的な探究の時間を「未来共創プロジェクト」と名付け、探究活動に力を入れています。持続可能な社会の創り手として、これからの社会で活躍できる資質・能力の育成するために、地域や社会の課題の解決を目指して生徒自身が考え行動していく探究活動を行っています。「未来共創プロジェクト」では、探究活動を通して、地域の企業や団体等と新たな価値を共創し、行動する課題解決学習に取り組んでいます。

逗葉高校+逗子高校
逗子葉山高校



逗 子葉山高校では、『挑戦できる居場所』をコンセプトに「中学校でも頑張ったけれど、もうひと頑張り学力向上に挑戦してみたい。進路実現に挑みたい。」「今までは誰かが準備してくれた行事に参加していた。今度は自分で学校行事を創ってみたい。」「新しい学校の伝統を、逗子葉山高校の生徒文化を、自分たちの手で築き上げたい。」という生徒さんの想いが実現できるよう、充実した学校生活を提供すること、学習・進路実現をサポートすることに力を入れています。

また、タウンミーティングへの参加、逗子アートフェスティバルなど、逗子市、葉山町の行事への参加など地域との連携に力を入れていることも特徴の一つです。

厚木東高校+厚木商業高校
厚木王子高校



厚 木王子高校は、普通科と総合ビジネス科を併置する高校として、学科併置の特色を生かした教育活動を展開しています。「普通科」では、生徒一人ひとりの多くの挑戦を支えるため、時代の変化に合わせた様々な教育実践を行い、日々の学習だけでなく「朝読書」「週末課題」や「放課後の講習」といった学習力の向上に向けた取組が行われています。また、2学年文系選択科目、3学年選択科目では幼児教育科目や家庭科応用科目、商業科科目も選択することができるなど、将来の進路に応じた科目選択ができます。「総合ビジネス科」では、時代の変化に柔軟に対応するための幅広いビジネス教育を行い、基礎力・思考力・実践力等を高め、専門性を生かして社会に貢献できる人材を育成するため「朝学習」やデジタル人材育成推進事業の指定校として、専門設備が整っている商業教育棟を活用した「課題研究」の活動が充実しています。また、スーパーアカウンティングハイスクールの指定により、日商簿記検定のオンラインコンテンツを利用することもできます。

城山高校+相模原総合高校
相模原城山高校



相 模原城山高校では、「ICT利活用授業研究」「プログラミング教育研究」推進校としての成果を継承し、これからの情報社会を生き抜くうえで必要となる情報活用能力、論理的思考力、課題発見・解決能力を育むために、すべての教育活動で情報教育を展開しています。

また、地域の小・中学校との交流や地域人材の活用を通して、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立を目指した教育活動に取り組んでいます。幼児教育研究を選択している生徒たちで構成される「ひまわりクラブ」は、校内の活動だけではなく、津久井支援学校、城山こどもセンター、城山公民館において人形劇公演やボランティア活動を展開するなど、地域と密着した取組を行っています。

令和6年度 神奈川県立高等学校PTA連合会 役員・理事紹介

令和6年度の高P連は、「学び、行動するPTA」というスローガンのもと、「迷ったらやる やるなら楽しむ」というサブタイトルを掲げ活動してまいりました。

変化を恐れず、Anything Goesの精神での活動は、チャレンジの多い年となりました。私たちが楽しみながら活動していることが理事の皆さまから各地区協議会へ伝わり、各校へも広がっていったのではないかと思います。理事会をはじめ、地区大会や交通安全大会、また研修大会や県大会で皆さまの笑顔に触れるたび、私たち役員や理事も迷いが消え、笑顔も増えました。

今から、ここから、神奈川から、私たちは常に進化しています。みんなで一緒に「学び、行動するPTA」を次に繋いでいくこと、またそんな私たちの背中を子どもたちは見ていることを忘れずに、子どもたちの明るい未来のために活動していくことを続けていきたいと思ひます。

(会長 内田裕美)



(写真前列左から)

植村副会長、小林副会長、角田副会長、
内田会長、菊地総務、石井総務、
岩澤総務

(写真後列左から)

釣監事、関監事、村田副会長、
今田事務局長、篠原理事(横浜北)、
石川理事(横浜中)、小松崎理事(県西)、
岡本理事(湘鎌)、橋本会計、
町田理事(横三)、鈴木理事(相模原)、
西森理事(県央)、藤下会計、
桃井理事(横浜南)



令和6年度の定期総会を6月15日(土)にパシフィコ横浜にて開催いたしました。

役員体制については、橋本会長を含む計2名が退任となり、前年度副会長の内田裕美が会長となり、前年度地区理事から計2名が新役員として選出されました。

また、議案の中の令和6年度事業計画(案)で、これまでは、研修大会や県大会等の大勢が集まる大会等は横浜での開催でしたが、経費の削減や多方面から参加する方々の声にも応えるため、県内各地で行っていくことが示されました。

多くのご質問、ご意見をいただきましたが、以下の通り総会は成立し、各議案についても全て承認されました。ご審議いただきありがとうございました。



令和6年度定期総会

令和6年度 定期総会 成立要件と承認事項

【出席者数】(総会員数:287名)

各校PTA会長	96名
各校校長	96名
役員・理事	22名
委任状提出	59名
合計	273名

【決議事項】

- * 令和5年度事業報告・決算報告・監査事項
- * 令和6年度役員選任
- * 活動方針・スローガン・ミッション(案)
- 令和6年度事業計画・予算(案)

	項目	収入	支出	差額(繰越金)
令和5年度決算	一般会計	32,862,787	25,883,652	6,979,135
	研修事業会計	6,963,700	4,483,374	2,480,326
令和6年度予算	一般会計	29,689,135	29,689,135	0
	研修事業会計	5,470,326	5,470,326	0

【学び、行動するPTA】団体表彰:15校(学校番号順)

元石川高校PTA	城郷高校PTA	希望ヶ丘高校PTA
柏陽高校PTA	新城高校PTA	百合丘高校PTA
海洋科学高校PTA	秦野高校PTA	伊勢原高校PTA
平塚中等教育学校PTA	山北高校PTA	足柄高校PTA
座間高校PTA	厚木北高校PTA	海老名高校PTA

令和6年度 賛助会員(団体):6団体(50音順)

株式会社トキワヤ 全力丸株式会社 創英ゼミナール
東京海上日動火災保険株式会社 東京工芸大学 横浜薬科大学

令和6年度 賛助会員(個人):1名

神奈川県立高等学校PTA連合会がおすすめる 「ハイスクール24」(団体総合生活保険)

おすすめ
ポイント1

54.5%*割引適用

*団体割引30%、損害率による割引35%(除く天災危険担保特約)を適用。
*さらに傷害補償には大口団体割引10%適用。

おすすめ
ポイント2

24時間 365日
＜ケガや賠償事故を補償＞

おすすめ
ポイント3

個人賠償責任・国内無制限(国外1億円)
＜神奈川県自転車条例にも対応＞

おすすめ
ポイント4

教育継続支援特約(ZPタイプのみ) ※詳細はご案内チラシをご参照ください。
＜お子様の将来に向けた教育継続を支援！＞

大切なお子様を24時間しっかりサポートする「ハイスクール24」。学校を通じて、生徒・保護者の皆さまに「ご案内チラシ」を配付予定です(2月中旬頃配付予定)。ご関心のある方は、神奈川県立高等学校PTA連合会HPをご確認ください。Webによるお手続きが可能です。

■このご案内は商品の概要をご説明したものです。詳細はご案内チラシを、ご加入にあたっては重要事項説明書を必ずお読みください。ご不明な点がございましたらご案内チラシに記載のお問い合わせ先までご連絡ください。



＜引受保険会社＞

東京海上日動火災保険株式会社

横浜中央支店 金融公務課
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-4
みなとみらいビジネススクエア6階
TEL: 045-224-3519

24TC-005529(2024年12月)

「かながわ教育ビジョン」について(人づくりコラボ教育月間含む)

県教育委員会では、かながわ人づくり推進ネットワークと連携し「かながわ教育ビジョン」で掲げた「心ふれあう しなやかな 人づくり」を進めています。そうした人づくりの推進に向け、県民一人ひとりが、教育について考え、行動するための機会として「かながわ教育月間」の設定や「かながわ人づくりコラボ」の開催等に取り組んでいます。今後ともPTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

県立高校改革

県教育委員会では、「生徒の学びと成長にとって何が重要か」という基本的な考え方に立って、すべての県立高校で、計画に基づく改革に取り組んでいます。

令和4年10月には、令和6年度から9年度までの取組を示したⅢ期計画を策定しました。

また、令和7年度には、二俣川看護福祉高校に普通科を設置し

て、二俣川高校へ名称変更します。引き続き、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

神奈川 県立高校改革 検索

インクルーシブ教育実践推進校について

本県では、共生社会の実現をめざし、すべての子どもが同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育を推進しています。実践推進校では、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げるため特別募集を実施しています。すべての生徒が共に学ぶことを通じて、互いを理解しながら、多様性を尊重する態度を養ったり、社会性・思いやりの心を育んだりしています。引き続き、皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

スマートフォン等の適切な使用について

高校生がスマートフォン等の利用における犯罪被害、誹謗中傷やいじめ等のトラブルに巻き込まれるケースが増えています。インターネット上に一度投稿

し拡散された情報は、全てを消すことはできません。

また最近では、目先の利益にとらわれ、いわゆる「闇バイト」に安易に応募してしまい、重大な犯罪に加担してしまうことが大きな社会問題となっています。

スマートフォン等の使用に関するルールをご家庭で話し合ってください。

子どものケータイ安全・安心な利用のために 検索

かながわ 依存症対策 検索

ペーパーティーチャー研修講座(県立総合教育センター)

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかの教員免許状を所有している方、又は免許が失効している方向けに、「ペーパーティーチャー研修講座」を2月21日(金)に開催します。詳しくは、当センターウェブサイトをご覧ください。なお、令和7年度も同講座を複数回開催する予定です。

【問合せ】県立総合教育センター企画調整課 電話 0466-81-1759

ペーパーティーチャー研修講座 検索

「一人で悩まないでお気軽にご相談ください」

不登校やいじめなどの学校生活に係る様々な相談は県立総合教育センターの教育相談へ

「24時間子どもSOSダイヤル」

0120-0-78310 24時間365日

「不登校ほっとライン(電話相談)」

0466-81-0185 毎日

8:45~16:45(年末年始を除く)

「Eメールによる相談」

kng-k-mail sodan@penkanagawa.ed.jp

「来所による相談」(要予約)

0466-81-8521

月~金 8:30~17:15

(祝休日・年末年始を除く)

「PTA活動のためのハンドブック」をご活用ください

県教育委員会では、PTAに対する理解をより深めていただくためのテキストとして、「PTA活動のためのハンドブック」を作成しております。

また、このハンドブックの基本的な事項をまとめた概要版も作成しております。

どちらも県ホームページからダウンロードしていただけますので、目的に合わせてご利用ください。

かながわ PTA ハンドブック 検索

エンジニアにつながる5科で学ぶ!

将来はエンジニア! KCIT

神奈川県立産業技術短期大学校



-  生産技術科
-  制御技術科
-  電子技術科
-  産業デザイン
-  情報技術科

- 神奈川県が運営する短大!
- 学費は年間50万円以下!
- 高校の専攻を問いません!
- 4年制大学への3年次編入が可能です!

最新情報はホームページへ!

<https://www.kanagawa-cit.ac.jp/>

お問い合わせ

〒241-0815
横浜市旭区中尾2-4-1
(運転免許センター隣)

電話 045-363-1232



安全振興会報

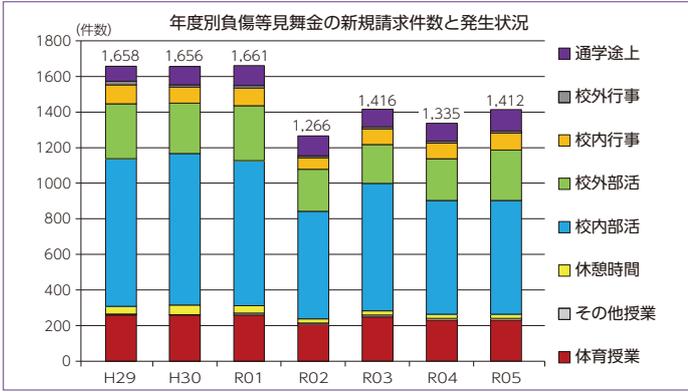
一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会

当法人は、昭和52年に創立した「神奈川県立高等学校災害共済会」を前身とし、①学校管理下における事故に対する見舞金の給付、②学校安全の普及と充実、③修学奨励金の給付、を行っています。詳細は当法人のHP、または、「令和7年度版安全振興会のご案内」をご覧ください。

見舞金等の給付状況

次の表は令和5年度の見舞金等の件数と給付金額です。グラフは直近7年間における負傷等見舞金の新規請求件数及び発生状況です。令和5年度新規災害件数は令和4年度から77件増加しましたが、この数は、コロナ前3年間の年平均より246件下回ります。

令和5年度見舞金等の件数と給付金額		
	件数(件)	金額(円)
死亡見舞金	0	0
障害見舞金	2	2,015,000
負傷等見舞金	1,779	64,916,200
歯牙欠損見舞金	1	40,000
義歯見舞金	17	1,100,000
供花料	14	1,400,000
合計	1,813	69,471,200



請求のタイムラグや生徒数の減少も考えられますが、部活動における生徒や顧問の先生方による事故対策の成果が出たものと思います。今後の動向に期待しています。

負傷の内訳

次は令和5年度の負傷の内訳件数表です。ケガが一番多いのが骨折、二番目が膝靭帯損傷という順位と比率は例年ほとんど変わりません。膝靭帯損傷の継続請求件数が多いのは、治療が長期間にわたるためです。表にはありませんが、種目別に内訳の割合を調べますと、部活動ではグラウンド種目は骨折が多く、体育館種目は靭帯損傷が多くなっています。授業や学校行事では球技種目での指の骨折が目立ちました。

令和5年度負傷等内訳表			
内訳	新規	継続	合計
骨	686	107	793
捻挫	108	10	118
脱臼	86	21	107
打撲	82	12	94
打撲	43	3	46
内傷	11	8	19
骨折	28	6	34
歯牙破折	3	2	5
半月板損傷	29	23	62
膝靭帯損傷	125	127	252
足関節靭帯損傷	101	17	118
アキレス腱断裂	60	18	78
その他	40	13	53
合計	1,412	367	1,779

令和7年度の会費年額は次のとおりで変更はありません。

学校・課程	会費額			合計
	純掛金	付加共済掛金	一般会費	
高等学校(※) 全日制	708	372	120	1,200
定時制	354	186	60	600
通信制	106	56	18	180
中等教育学校	708	372	120	1,200

(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む。

テーマは、「安全」 または 「健康」

作文コンクール

応募数は1154点(16校)で昨年より49.5点増加しました。最優秀賞2点を「令和7年度版安全振興会のご案内」に掲載しました。

最優秀賞(2名)

坂間日和(新城)

小林結愛(西湘)

「不器用で愛のある言葉」



坂間日和さん(新城)



小林結愛さん(西湘)

ポスターコンクール

応募数は163点(15校)で昨年とほぼ同数でした。

最優秀賞の2点を原画として「安全推進月間」と「作文募集」のポスターを作成して、「安全推進月間」のポスターは令和6年10月末に全校に配付しました。「作文募集」のポスターは令和7年5月に全校へ配付します。(以下、敬称略)

最優秀賞(2名)

丹生谷瑛香(茅ヶ崎)

片寄彩葉(白山)

「作文募集」

優秀賞(5名)

中村陽菜(柏陽)、南澤茉奈(新城)、田村美樹(住吉)、足立麻緒、永野朝陽(以上、海老名)

佳作(41名)

渡邊穂乃花(横浜桜陽)、相原里佳子、石田詩織、西城りりこ、澤田結梨、正地真渚、鈴木秋帆、富樫さくら、畑田凜、八

優秀賞(10名)

島原歩空(白山)、藤本静香、山本果歩(以上、茅ヶ崎)、岡澤采里、安田悠人、嶋田玲奈、兵藤安珠、吉岡志織(以上、市立横須賀総合)、原田詠、森谷萌愛(以上、横浜隼人)

佳作(10名)

小笠原いなみ(岸根)、椎橋幸太(生田)、石川綾乃、服部桜以上、茅ヶ崎)、高橋奏江、中山末菜、青石純和、中島采七(以上、市立横須賀総合)、井本佳菜紗、平川心遥(以上、横浜隼人)



片寄彩葉さん(白山)



丹生谷瑛香さん(茅ヶ崎)

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
横浜市中区山下町1番地シルクセンター326号室
電話 045-274-8189 / FAX 045-274-8190
URL <http://www.kanagawa-hszen.or.jp>